

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和5 年 6 月 26 日	
尼崎市長 殿	
提出者	
	住所 尼崎市鶴町1番地
	氏名 日鉄ステンレス鋼管(株)尼崎工場 工場長 稲葉 公典
	(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
	電話番号 06-6416-1031
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄ステンレス鋼管株式会社 尼崎工場
事業場の所在地	尼崎市鶴町1番地
計画期間	令和 5 年4月1日～令和 6 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2 2 3 4 鋼管製造業
②事業の規模	製造品出荷額 11,549百万円（令和 4 年度実績）
③従業員数	1 4 7 人（令和5年3月末時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 0200汚泥の発生抑制のため、0200汚泥の元である廃酸抑制に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 0200汚泥の発生抑制のため、0200汚泥の元である廃酸抑制を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 工場内の保管場所を0600廃プラスチック類、0200汚泥、0300廃油、0340油でいに分けて保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 上記取り組みを継続

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特に無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 0200汚泥の含水率を70％程度に保つよう、脱水機の適正な維持・管理に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 引き続き適正な維持・管理に努める。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特に無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 全量、優良認定処理業者に委託した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への処理委託を推進する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

○産業廃棄物の発生工程

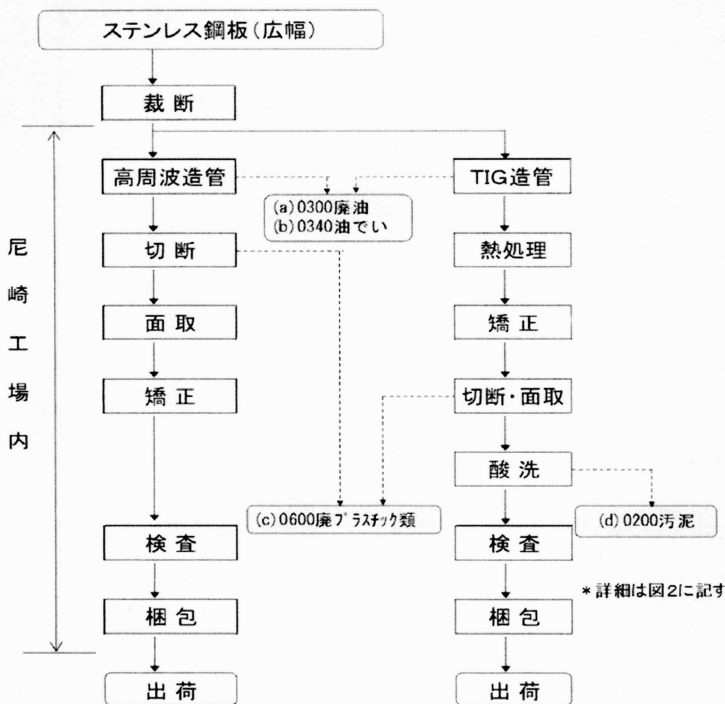


図1 ステンレス鋼管製造フロー

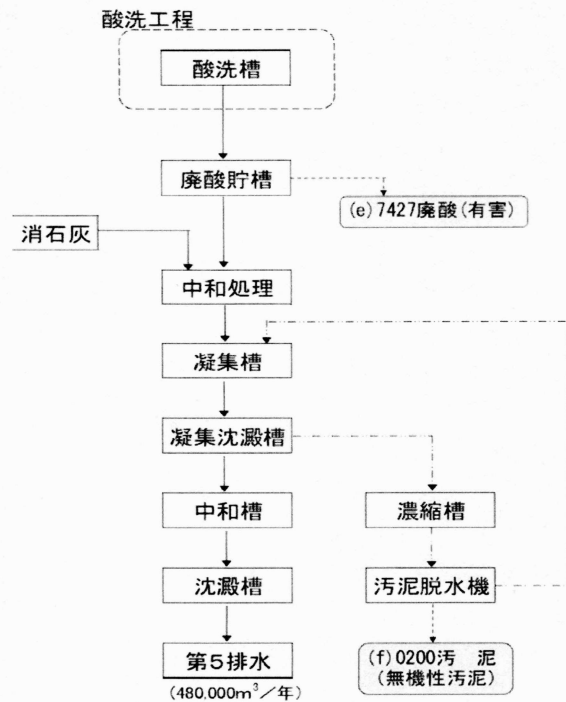


図2 廃液処理フローシート

●各産業廃棄物の処理の流れ

(a) 0300廃油

収集運搬＜委託：(株)ダイセキ＞ → 油水分離＜委託：(株)ダイセキ＞
→ 油水分離された廃油は燃料化＜委託：住友大阪セメント(株)＞

(b) 0340油でい

収集運搬＜委託：(株)ダイセキ＞ → 活性汚泥処理＜委託：(株)ダイセキ＞
→ 残渣は管理型処分場に埋立処分＜委託：大阪湾広域臨海環境整備センター＞

(c) 0600廃プラスチック

収集運搬＜委託：(株)摂津清運＞ → 破碎・選別＜委託：(株)摂津清運＞
→ 選別後、RPF原料化 または 管理型処分場に埋立処分＜委託：大栄環境(株)＞

(d) 0200汚泥

①収集運搬＜委託：宮坂産業(株)＞ → 海洋埋立＜委託：大阪湾広域臨海環境整備センター＞

②収集運搬＜委託：宮坂産業(株)＞ → 路盤材などに再利用＜委託：(株)疋田建設＞



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 前年度（令和 4年度）実績					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
排出量	27t	9t	39t	2382t	2457t
②計画 目標					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
排出量	26 t	9 t	37 t	2300 t	2372 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状 前年度（令和 4年度）実績					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t
②計画 目標					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状 前年度（令和 4年度）実績					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	2015 t	2015 t
②計画 目標					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	1946 t	1946 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状 前年度（令和 4年度）実績					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 目標					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状 前年度（令和 4年度）実績					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
全処理委託量	27 t	9 t	39 t	367 t	442 t
優良認定処理業者への 処理委託量	27 t	9 t	39 t	367 t	442 t
再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	4 t	127 t	131 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 目標					
産業廃棄物の種類	0300 廃油	0340 油でい	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥	合計
全処理委託量	26 t	9 t	37 t	354 t	426 t
優良認定処理業者への 処理委託量	26 t	9 t	37 t	354 t	426 t
再生利用業者への 処理委託量	25 t	8 t	4 t	124 t	161 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t